



働き方・休み方 改善ハンドブック



製造業(電機・電子・情報通信業編)

多様な人材が企業価値と生産性を高める
職場づくりをめざして



厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare



目次

はじめに	1
電機・電子・情報通信業界を取り巻く環境と課題	2
働き方・休み方の改善がなかなか進まないのはなぜか?	4
改善のための「4つの体系」と「8つの取組項目」	4
〔取組ポイントの紹介〕	
その1. 方針・目標の明確化	6
その2. 改善推進の体制づくり	8
その3. 改善促進の制度化	10
その4. 改善促進のルール化	13
その5. 意識改善	15
その6. 情報提供・相談	17
その7. 仕事の進め方改善	19
その8. 実態把握・管理	21
〔企業事例〕	
シャープ株式会社	23
日本アイ・ビー・エム株式会社	26
キヤノン株式会社	28

はじめに

この「働き方・休み方改善ハンドブック 製造業（電機・電子・情報通信業編）」は、電機・電子・情報通信業界の企業において、長時間労働を抑制し、年次有給休暇を積極的に取得することにより、社員一人ひとりがワーク・ライフ・バランスのとれた、よりよい働き方・休み方を実現し、生産性の向上や効率的な経営につなげることを目的に作成されたものです。

電機・電子・情報通信業界の企業の多くは激変するグローバルな競争環境の中に置かれています。海外企業を含む他社との差別化を図りつつ、新たな商品やサービスを生み出し、企業が成長を続けるためには、社員の能力を最大限に発揮することが不可欠です。とくに新興国を巻き込んださらなるグローバル化の進展や企業の合併・買収による業界再編、他業種からの参入等による環境変化が生じてきており、このような中で競争力を高めるためには、人的資本の有効活用が強く求められています。

社員が最大限に能力を発揮できる環境を整えつつ、生産性を向上させることなどにより、長時間労働の抑制と年次有給休暇の取得促進を図っている企業があります。

このハンドブックでは、自社での取組を考えるに当たってのヒントとなる先進的な企業における取組事例をお示ししています。

働き方・休み方の改善は、電機・電子・情報通信業界の企業にとって最大の経営資源である「人材」の能力や経験を引き出す、企業にとっても大きなメリットとなる取組です。

まずは、企業の経営者や人事労務管理者の皆様が働き方・休み方改善の重要性を理解し、自らが率先して、働き方・休み方改善の見直しに取り組んでいきましょう。

また、社員の方にも本ハンドブックを手にとりいただき、自らの働き方・休み方について、何かしらの気づきを得ていただく機会としましょう。